

高3
英語リスニング

生徒自らが課題に気づき、各々が課題克服に向けて取り組む

【学校情報】 岡山県立岡山芳泉高校・普通科・単位制・1学年320名／おもな進路状況 国公立大214名、うち難関国立大21名

新たな取り組みに至った背景

限られた時間で密度の濃い指導にするために、生徒自身に弱点を気づかせて、自ら克服していくようにするなど、いかに「生徒自らの学び」を促すかを考えた。

具体的な取り組み

① 「自学のしやすさ」を最優先に、教材を選定した。

今年は自学での使いやすさを最重視してリスニング教材（問題集）を決めた。教材選定では、各社のアプリも見比べてみた。

② アプリを検討する際の優先順位

家庭・授業での使用を考えてパスワード不要、オフラインでも使えるアプリを優先した。都度ネット接続を行う方式や、課金制のものだとダウンロードしない生徒が出て、環境に差が生じることを懸念。また、スライダー（巻き戻し）、3秒戻し・早送りの有無、音声スピードを変えてもノイズが入らずきちんと音声聞こえるかも確認した。

③ 自学で問題集に取り組み、「振り返りシート」を提出

新たに購入したマークリーダーを用いて正解率をデータ化し、全体の集計結果から、客観的な自分の立ち位置を把握させた上で、プリントで「振り返りシート」を提出させ、自分の苦手がどこなのかを言葉にするようにした。

学校資料

おもな成果

「振り返りシート」による生徒とのコミュニケーション

教員側が生徒の課題や学習方法を指摘するのではなく、生徒が自分で出した方向性にアドバイスを出す。生徒自身が振り返りシートでの気づき（自分の課題）に対して試行錯誤することで、各個人に適した学習ができるようになった。

生徒個別の課題に対してケアできるようになった

全体指導では行き届かなかった、「1回読みができない」「単語が聞き取れない」「メモが取れない」といった、生徒個々の課題に対して、生徒が問題集の演習箇所・方法を自分で決め、アプリを活用することで、「弱点潰しのための個別学習」が行えている。全体（30分テスト形式）と部分（設問別）を使い分け、効率よく実力を伸ばしている。

今後の指導プラン

文章量の多い共通テストに向けた読解スピードのアップ。具体的には、テストでリスニング演習のクリプトを使って出題するなどしながら、「リスニングと同じスピードで読む体感」を与えていく。高得点層は図表や複数資料などの複雑な操作を要求する問題、音声的に聞きにくい箇所の練習など完成度を高める。

高3
英語リスニング

学校資料 演習後の振り返りシート

リスニング演習メモ

- 1 日時 / ()
- 2 内容 第 問
※この問いを選んだ理由
- 3 特徴 ○する (対話、モノログ、2回読み、1回読み、)
- 4 完成度 () % 問題のできるできない以外にも…
- 5 自分の問題点 (聞こえなかった音、知らなかった単語、間違った問題…)

6 次の時間取り組むこと、困っていること

class() no () name ()

リスニング演習メモ

【例】

- 1 日時 6 / 18 (木)
- 2 内容 第 6 問 B
※この問いを選んだ理由
会話形式が苦手ですぐに聞き逃したり、分からない単語に気が散ってしまうから。
- 3 特徴 ○する (対話) モノログ、2回読み、(1回読み))
- 4 完成度 (90) % 問題のできるできない以外にも…
- 5 自分の問題点 (聞こえなかった音、知らなかった単語、間違った問題…)
- 自分が思っているよりも答えは合うけど、「何を根拠として選んだか」というのが分かっていない **文字を見てわかりますか？**
 - 問2の発言者の内容を指示する図が、問1を中心に聞きすぎて、解く頃には忘れてしまっている(メモはしているが、足りない！?)
↳効率的なメモの取り方は???
 - 賛成か反対かは、そのような意味を持つ語句を拾うようにしているが、その他でつづりが分からない場合や、書いていたために聞いたのを
メモするときに 忘れる場合を防ぎたい…
- 6 次の時間取り組むこと、困っていること
6Bの形式をもう1回する。
メモのこつはありますか？
語頭の数字だけ書くとか、記子を混ぜる←早さ負け(ない音を取るのに苦勞しているなら別途練習が必要かも?)

class() no () name ()